

平成23年11月11日発行

第155号

# こうふ町 議会だより

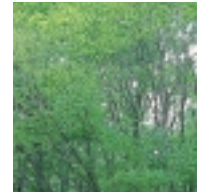
## 町勢

世帯数/1,131世帯

人口/3,451人

(平成23年11月1日現在)

町の木



ぶな

町の花



あやめ

22年度決算を認定…………… 2 P

決算特別委員会参考意見…………… 7 P

**いっぱん質問** 町政を問う…………… 10 P

私のひと言…………… 14 P



# みのりの秋に感謝!!

# 平成22年度 歳出総額

# 60億6,708万円認定

## 一般会計 41億9,576万円

## 特別会計 18億7,132万円

光ケーブル、町内整備完了！  
年末雪崩事故対策をしつかりと！

平成22年度9月定例会は12日招集され、会期を26日までの15日間として開かれた。

今回の定例会は平成22年度一般会計と16の特別会計の決算を審議した。町長からの提出議案33件は慎重審議し、すべて可決した。

最終日に人事案件として教育委員の藤原成雄君が任期満了につき、再任された。

また、江府町議会会議規則により4議案が議員発議され可決した。

### 一般会計

平成22年度の一般会計は、歳入総額41億9576万円、歳出総額40億7999万円で、今期も赤字となった。

歳入増加の主なもの、経済対策事業、情報基盤整備事業（光ファイバー網の整備）の交付金補助金の増と、地方交付税の増加によるものです。固定資産税に於いては、1012万円の減額でした。歳出については、情報基盤整備事業で6億1926万円増加している。公債費が7億6740万円で、前年より1億6740万円減少した。

費目別内訳（主なもの）

- (1) 公債費 7億9831万円
  - (2) 総務費 構成比率19・9%
  - (3) 民生費 12億2065万円
  - (4) 衛生費 5億8388万円
  - (5) 労働費 2億9041万円
  - (6) 農林水産費 3億44万円
  - (7) 土木費 3億6471万円
  - (8) 教育費 1億3977万円
  - (9) 消防費 1億9934万円
- 8654万円

### 特別会計

平成22年度の16会計歳入総額18億7132万円前年対比104・8%、歳出総額17億930万円前年対比107・1%増となった。

- 主な歳出
  - 国民健康保険事業勘定 4億3096万円
  - 国民健康保険(施設勘定) 3億732万円
  - 介護保険(保険事業勘定) 4億7472万円
  - 簡易水道事業 1億6147万円
  - 農業集落排水事業 2億5959万円
  - 公共下水道事業 7124万円
- などです。



# 監査委員の審査意見

少ない予算でも有効に「ムリ」・「ムダ」・「ムラ」のない財政運営を



雪崩防護柵工事

平成22年度江府町決算  
監査に伴う行財政の実態  
と問題点を総括致します。  
平成22年度の予算執行  
に当たっては、財政状況  
の厳しいなか、一般財政  
調整基金に3億円を積み  
立てる努力を認めます。  
平成21年度実質公債費  
率は21・2%と対前年1.7  
%と改善されました。  
この数値は平成19年と

ほぼ同様であり、今後公  
債費支出も少なくなる見  
込みですが、高齢化率も  
39・25%となり社会保障  
費の増加等も見込まれ、  
引き続き厳しい状況が予  
想されます。  
また、昨年末に発生い  
たしました奥大山スキ―  
場雪崩事故により、本町  
予算に影響もしており、  
索道事業、総務費からの

予算執行状況を町民の皆  
様に情報提供をする必要  
があると思います。  
3月11日、東日本大地  
震発生により、本町も防  
災体制に深く関心を持つ  
ておられると思います。  
平成22年度初めて本町で  
も災害時避難訓練が実施  
されましたが、避難場所  
の早期設定の取組み、役  
場機能が、4力所に分散  
しており災害発生時の対  
応遅れ等が懸念されるこ  
ろであり、防災体制の  
見直しを願います。  
今後の財政運営につき  
ましても、財政推計等情  
報を町民に提供しながら  
少ない予算でも有効に、  
ムリ・ムダ・ムラのない  
財政運営をお願いいたし  
ます。



奥大山旨いもん祭

## 監査留意事項

①行財政改革の一層の推  
進を図りたい。

②一般会計、特別会計の  
未済額について、徴収事  
務に一段の努力を図ると  
ともに不納欠損処理は慎  
重に行われたい。

③町財産の管理、活用を  
検討されたい。

④職員人事評価制度の推  
進を願いたい。

## 要望事項

①「環境王国」奥大山」  
をPRし特産品販路の拡  
大を推進されたい。

②江府町職員の旅費に関  
する条例第17条車賃の見  
直しを図られたい。



佐川公共下水処理場

**Q** 地籍調査費は

**A** 昨年は390万円で武庫地区の地籍調査が行われたが、その費用は。

**Q** 下水修繕業者は

**A** 家庭の下水修繕に一部悪徳業者がいると聞けが、町で業者を斡旋はできないか。

**Q** 除雪費は

**A** 昨年度は非常に大雪だったが除雪費は約4700万円であり平成21年度の除雪費約3000万円と比較し、かなり増額しました。



大雪による除雪

**Q** 図書館は

**A** 他町に比べ図書館は十分と言えないが誘致企業に働きかけるなど図書の実の対応は。

**Q** 図書館は

**A** 蔵書の数や図書ペースなど今の場所では制約があり難しいと考えています。図書館協議会を立ち上げ、今後の図書館の在り方を検討していきたい。



ランチルーム

**Q** 学校給食は

**A** 学校給食会がその会計を行っているが、未収があるなど問題もある。議会として学校給食について議論するためにも、今後行政に会計を移すべきでは。

**Q** 明德学園の記念文集は

**A** 昨年編さんされた文集「明德」第20集は大変立派なものであり、多くの人に読んでもらおうという工夫は。

**Q** 編集委員や投稿された方の成果だと考えています。印刷製本が終わり増刷は難しいが、図書館等多くの人の目に触れるよう行っています。

# 決算の審査

## 一般会計

### 投票率は

**Q** 投票所の削減による投票率の変化は。

**A** 21投票区を14投票区に削減しましたが参議院選挙、県知事選挙とも大きな変化は見られず、期日前投票が増加しました。また、当日実施した無料の町営バスの利用者は1名でした。

### 借地料は

**Q** 町の借地料が毎年900万円余りあるが今後の対応は。

**A** 主なものとして江府小学校304万円、明倫小学校161万円、町民運動場168万円などがあります。以前は、米の価格で契約していましたが現在は、m単価で契約しています。地価が下がっており地権者とは契約の更新時に交渉を進めています。

## 光ケーブルは

**Q** 全町に光ケーブルが整備されたが、その加入状況は。

**A** 今年の春、全町に整備が完了しました。光ケーブルの加入者は1153世帯、非加入者30世帯です。非加入世帯は空き家や高齢の方などです。また、インターネットの加入者は42%となっており他町と比べても高い加入率です。

## 文書管理費は

**Q** 法令集等の印刷などに毎年500万円程度必要だが、今後、パソコンの利用でこれを削減できないか。

**A** 毎年、多くの法令が変わりその整理に費用がかかっています。パソコンで見ることできますが、印刷製本が便利なことあり今後の検討課題とします。



江府小学校

## 民生委員・交通指導員は

**Q** 民生委員・交通指導員はボランティアでその仕事を行っておられます。その仕事内容は大変であり最近、なる方がおられないのが実態です。町としてどのように考えているのか。

**A** 民生委員については、色々な方にお願いをしています。現在1名欠員となっています。交通指導員についてもなかなか交代できないのが現状です。今後、現場の声を聴き対応していきたい。

## 保育園の芝生は

**Q** 保育園の園庭が芝生になったが、その状況は。

**A** 芝生になって子供たちは、予想以上に喜んで外で遊んでいます。芝刈りが大変ですが保護者会が行っています。



保育園芝生化

## 消防団は

**Q** 昨年、消防の操法大会において第一分団が全国優勝したが、現在の団員数は。

**A** 平成23年3月末の団員数は、第一分団22名、第二分団25名となっており、第一分団は3名の欠員です。団員の確保が課題である。

# 特別会計

## 国民健康保険（事業勘定）特別会計

**Q** 受診件数が増加している理由は。

**A** 国保被保険者における前期高齢者被保険者（65才～74才）の占める割合が約45%であるため、年齢が高くなるにつれて、医療機関にかかる頻度も多くなる傾向にあるために受診件数が増加しているものと考えられます。

**Q** 医療費が高いのは一般被保険者ですか。

**A** 一般被保険者の一人あたりの医療費が高い状況にあります。

**Q** 受診費用1件あたり500万円以上のようなケースが増加しているが。

**A** 2年ないし、3年に一回程度、入院費における超高額医療費

が発生しており、このようなケースが生じることについて、現在、分析を行っています。

## 国民健康保険（施設勘定）特別会計

**Q** 基金はいくらあるか。

**A** 平成22年度決算で約1億円の基金があります。

## 後期高齢者医療特別会計

**Q** 一人あたりの医療費は。

**A** 約88万6千円で県下の市町村の第7番目に位置し、県平均1人あたりの医療費84万2千円という数値に比べると高い状況にあります。

## 簡易水道事業

**Q** 西成地区の水道施設の町移管について、今後の見通しは。

**A** 今後、衛生面等も考え、集落と協議をしていきたい。

## 農業集落排水事業

**Q** 美用地区の供用開始は。また杉谷地区の事業の開始は。

**A** 美用地区は平成24年度供用開始予定です。杉谷地区は平成24年度着工。25年度完了予定であり、町内集合処理はすべて完了します。

## 公共下水道事業

**Q** 川筋地区農業集落排水と公共下水道の事業統合についてどのような状況か。

**A** 国土交通省と農水省であり法律的問題もあるが、県と協議していきたいと考えています。



住民健診の様子



# 決算特別委員会

## 参考意見

### 一般会計

江府町の平成22年度一般会計決算は、41億9千576万円であり前年対比18%増となっています。この増加の主なものとは政府の経済対策事業で行われた地域情報通信基盤整備事業（光ケーブル）の約6億円です。

平成22年度の特徴は歳入においては、地方交付税が昨年対比約2億2千万増の16億5千万円となり、歳出においては公債費が前年より約1億7千万円減の約7億5千万円となっています。この結果により平成22年度において約3億円の基金積み立てを行い、前年度末約6億8千万円であった基金総額が平成22年度末では約10億円に増加しました。実質公債費率は21・2%となり1・7%下がりましたが、引き続き行財政改革を進める必要があります。

非常に豪雪の中、年末に発生した雪崩事故は、

4名の尊い命が奪われました。発生直後から町長を先頭にその対応が行われました。現在も、ご遺族に対しその努力が行われています。あらゆる災害に対し万全の対策を行うと共に、できる限り町民に対しその情報を提供したいと思います。

国においては、民主党野田政権がスタートしました。東日本大震災と福島原子力発電所事故発生により、今後、国の財政政策がどのようになるのかが不透明であり、地方財政に及ぼす国の動向を十分把握し今後の財政運営に当たられたい。

### 総務課

(1) 平成22年度の報酬は、(すべて手当含む)町長18%、副町長・教育長10%、一般職員5%、町議会議員10%カットを行い財政健全化に努力している。

(2) 雪崩事故に遭われたご遺族に対し、万全の対応を願います。また、地

震、台風など想定外といわれる災害が発生しています。万が一に備え準備を願いたい。

### 企画政策課

(1) 200メガの高速光ケーブル網が整備されました。今後、その有効活用について研究し町民に提供願います。

(2) 地デジ放送が始まり

ました。日野中継局からの電波を受けて受信していますが、映像が乱れるなどの苦情が出ています。色々原因があるようですが、NHK等関係先に安定した受信ができるよう強く要望されたい。

(3) 「ここにこの事業」について、その内容を吟味し効果のある事業となるよう検証されたい。

### 福祉保健課

(1) 過疎高齢化が進み、その中で民生委員になる方が見つからない状況が生じています。民生委員の声を聴きその状況を把握し、現場の声を生かすことにより、今後の民生委員の在り方を検討願いたい。



江府小パソコン教室

農林課

- (1) サントリーにより奥大山が全国に向け発信されています。江府町には、豊かな自然と素晴らしい水、そしてその大地より育った素晴らしい農産物があります。この農産物を奥大山ブランドの付加価値をつけ、販売する為に、本年度中にブランドの確立に努められたい。
- (2) 農業委員は今年から任期3年のスタートが切られました。次の選挙までに農業委員会の中で自ら議論し農業委員会の定数を含めたい。また、資についてお示し願いたい。
- (3) 農業従事者が高齢化し、農地を守ることが困難となりつつあります。農地や空家の状況を詳細に調査し、Uターン、Uターンの受け入れが出来るよう準備願いたい。

産業振興課

- (1) 農林課と協力し、今年度中に奥大山ブランドの確立に努められたい。奥大山のシンボルとなるようなシールの作成など、早急な対応を願いたい。

教育委員会

- (1) 少子化対策として特に未満児の保育料見直しを検討願いたい。
- (2) 図書館協議会の設置が予定されています。図書館の設置場所、現在の配置、蔵書の充実を図るため企業等に対する働きかけなど、図書館のあるべき姿について検討願いたい。
- (3) 学校給食について現在は、学校給食会が会計を行っている。給食費の未払いが生じているようであり、また議会として色々な角度から見つめるべき事項であり、次年度より会計については、行政に移管するよう要請したい。



日野川こども太鼓

特別会計

住宅新築資金等貸付事業

収入未済額については、少しずつでも償還促進に努められたい。

国民健康保険(施設勘定)

医科、歯科とも診療件数が増えてきている。新しく医療機器も購入され、更に医療サービスの向上に努められたい。

介護保険事業(保険事業勘定)

年とともに施設入所者が増加の傾向にある。順番待ちの入所希望者もかなりあるようですが、町内優先になるよう検討されたい。

索道事業

平年2万人くらいのスキー客が、雪崩事故のためスキー場閉鎖で3592名と落ち込んだ。今季スキーシーズンに向け、



高齢者運動会

農業集落排水事業

農業集落排水事業

近年、配管清掃として不当な商法があるが、町が配管清掃業者を指定し、集落ごとに対応できるシステムを構築されたい。

簡易水道事業

湧水及び川沿いからの取水は、洪水時に濁りが発生する場合があるので、調査検討されたい。

西成集落水道の町営移管に向け、引き続き努力をお願いたい。

(滅菌、水質保全を図る上で)努力されたい。

美用地区は平成23年度完了予定で、小原集落は平成23年4月から供用開始している。杉谷集落は平成24年度着工、25年度完了で町内集合処理計画終了予定である。今後、接続の促進と個別合併浄化槽の推進を図られたい。

美用地区は平成23年度完了予定で、小原集落は平成23年4月から供用開始している。杉谷集落は平成24年度着工、25年度完了で町内集合処理計画終了予定である。今後、接続の促進と個別合併浄化槽の推進を図られたい。

# 西部議長会行政調査報告

平成23年 8 月10日(水)～12日(金)

日野尾 優

## 原村について

長野県諏訪郡原村

### 調査目的

米粉用米の生産・販売、価格対策と行政の資材提供事業等調査の為。

### 概要

原村は、長野県の南東部に位置し、集落・耕地は、標高900～1300mに位置し、セロリ、パセリ等の高原野菜を中心に、水稻、花卉の栽培が盛んな村、「信州で首都圏に最も近い村」として、観光面でも注目されている村。人口7,879人、予算規模、一般、特別、企業会計で53億4千万円。村議会議員11名。

### 取組み事業

減反対策として、麦、大豆は栽培に適さない立地条件のため、米粉栽培として、平成21年を米粉元年として



原村の意見交換

位置づけ「商品開発で消費拡大に挑戦」を取組んでいる。JA、地元加工業者と協力し、米粉を使用した味噌パン、米粉パン等商品開発し、生産面積も年々微増している。原村の資材提供事業は、住民の自主的、自発的活動を支援し、住民と行政が共に創造する地域づくりを推進し、事業費の減少を図っている。環境整備事業を中心に、資材購入費の75%を補助している。事業効果として「自分たちの住む地域は、自分たち手で」の意識改革が期待されている。

## 飯田市について

長野県飯田市本町

### 調査目的

総合計画の進行管理が、目指す町像に結びついていのか把握するため。

### 概要

飯田市は長野県最南部の市で、諏訪湖を源とする天竜川の河岸段丘に発達した市で、果樹を中心とした農業、水引や半生菓子などの地場産業のほか近年は精密機械工業も盛んになり、農工商のバランスのとれた市。人口10万5千人、予算規模、一般会計424億3千万円、市議会議員23名。

### 取組み事業

まちづくりビジョンを具体化する政策体系に基づき、「行政の取組みがどうまちづくりの課題を解決し、目指す都市像を実現しているか」「行政評価」方法を議会で取り組み、以降の方向性を公表し市民から理解と信頼を得た行政運営を進めて

いる。

21年度から「自治基本条例に基づき「議会報告会」をスタート、条例では「開かれた議会」運営を規定しており、議会活動について市民に説明し、市民との情報共有に努めている。

報告会では、行政評価の取組みについて分科会を設け各常任委員長から報告し、市民から率直な意見を聴取している。施策及び事務事業ごとに、現状維持、拡大等提示している。

### 考察

近年自治体議会はあらゆる議会像を求めて、全国各地で特徴ある政策に取組んでいる。議会基本条例の制定、住民懇談会の開催等、地域主権の時代を迎え、執行部と議会が切磋琢磨して英知を結集し、自立のまちづくりに取り組む必要がある。



議会での質問



# 一般質問 町政ここを問う

一般質問は3人の議員が行い、町長ならびに教育長の方針をただした



宇田川 潔

## 住民と行政が協働のまちづくりは 住民投票条例の制定は

<b>問</b>	まちづくり町民会議の役割は
<b>答</b>	町と地域のパイプ役と地域の実践的リーダー

**質問** 時代は急激に変化しており、江府町でも対応すべき課題が山積しています。行政と住民が協働でまちづくりを進める為に「まちづくり町民会議」の役割は大きいと考えますが町長の所見を伺う。

**町長答弁**

「まちづくり町民会議」の委員は3年間を任期として各集落から選任していただいております。委員さんには町と地域のパイプ役とともに、地域のまちづくりの実践的リーダーとしての役割を中心

に活躍していただきたいと思いますと考えております。ただこの「まちづくり町民会議」が「住民の参画の場としての組織」との認識はしておりません。今後住民参画の場としての組織は必要になるうと考えておりますので先進町村を参考に検討したいと考えています。

<b>問</b>	常設型住民投票条例の制定は
<b>答</b>	常設型より個別設置型が望ましい

**質問** 住民投票は基本的には町政に係る重要事項について直接住民の意見を問うことができます。



町民会議

住民投票は基本的には町政に係る重要事項について直接住民の意見を問うことができます。

**町長答弁**

いまのところそうした条例を提案することは考えておりません。町政の重要事項について行われる住民投票は、個別にその是非について十分に議論した上で実施されるべきと考えます。

事業ごとに個別に制定される条例は常設型住民投票条例に対して個別設置型住民投票条例と呼ばれる住民の意見を確認する必要が生じた場合にその都度議会の議決を得て制定される条例であります。一方常設型住民投票条例

は、案件が生じた場合、一定の仕組みで住民投票を行うことが出来ませんが、十分な議論がなされないまま住民投票が行われる可能性は否定できません。住民投票は安易に行われるべきではないと思っておりますので、やはり常設型より個別設置型のほうが望ましいと考えます。



# 図書館整備について



**質問** 町民の皆さんにとって、図書館が役割を果たしているかというところ、江府町の状況は、いささか遅れている様に思われます。現在の図書スペースは、防災情報センターの玄関フロアを中心に、

<b>問</b>	図書館の充実を
<b>答</b>	ソフト面の充実を



川上 富夫

窓際に所狭しと置かれている。今後、単独図書館は必要ですが、併設でも図書館の整備がなされるべきと考えます。そして、年間新書を1500冊から2000冊ぐらいは充実していかないと、いけないと思います。補正予算を組んで新書の購入を図るとか、他町に比べ図書館整備は遅れています。町長の所見を伺います。



**町長答弁**

町民が抱える日常生活での問題解決や地域課題の解決に役立つ資料や情報を提供しています。県内の公共図書館との連携・協力に対応しています。主な事業として子供たちに本の読み聞かせなど、図書館活動を行っています。将来として、公共施設の在り方、きちんとした図書館機能というのは当然必要ですし、新書購入をはじめ、ソフト面を充実させていきます。

## Iターン・Uターンの対応について

<b>問</b>	Iターンの受け入れは
<b>答</b>	受け入れ体制の整備が必要

**質問** 少子化・高齢化・過疎化が進み、遊休農地が益々進んできています。Iターンしたい人を、希望をもって迎える体制、整備が必要と思います。住む場所、空き家調査、耕作地の調査をし、対応を図るべきと考えますが、町長の所見を伺う。

受け入れるにも、住宅の整備、農地の集約、現金収入が可能な生活基盤整備をしなければいけません。

企業誘致については、西部圏域で対応し、米子市に企業進出があれば、江府町からは通勤圏であり、西部町村会としてもお互い連携していく取組みをしています。

今後、地域の受け入れ体制、地域のコーディネーター役が、重要になってきます。あわせて、人材育成も進めていきます。

**町長答弁**

地域の活性化と少子化対策、農業後継者対策として移住者、Iターンに期待しています。現在空き家も相当増えています。本町の農業は、小規模経営で兼業農家が大半です。Iターン、Uターンを



# 将来のまちづくりは



田中 幹啓

問	庁舎等の 方向は
答	財政の 状況を見て

**質問**

①庁舎は大変老朽化している。どう対策を考えているのか。今後の方針を伺う。

②CATVが設置されていないのは、日野町と江府町だけになり、情報過疎になってしまつ恐れを感じるが研究機関設置の考えはないか伺う。  
③廃校後、月日は流れているが利用活用を含め研究対策委員会の考えはないか伺う。  
④今回の福島原発事故により、脱原発がさげばれている。新エネルギーをどう確保して行くべき

か考える時代に入ったが大学の先生は、水の江府町として小水力発電の可能性を示唆している。研究機関を設置する考えはないか伺う。  
⑤大山古道が動き出しているが、巨木、名木を観光ルートにのせる考えはないか伺う。

**町長答弁**

①庁舎については現在の所、白紙であり、財政の状況を見て改めて特別委員会の設置を協議させていただきたい。  
②平成22年度地域情報通信基盤施設整備事業により町内にケーブルを敷設した。IP告知端末を設置し、町内全域でインターネットが使える環境が整ったところであり、C

ATVは加入者の負担が大きいため現在の所考えていない。

③廃校の利用活用については、米沢小学校は資料の置き場所に、俣野小学校については地元のコミュニティー施設、明倫については地元で体育館を利用して卓球やソフトテニスを楽しんでいただいている。下蚊屋分校は文化活動に。大河原分校は現在グラウンドを砂防工事事務所に貸し出ししている。現在は研究機関は考えていない。  
④江府では新エネルギーに対する補助は太陽光発電に行っている。

県と協議中であるが、法律、地形から考え、限られる。下蚊屋ダムへの設置を計画し県特区構想に盛り込んでいきたい。  
⑤民間で大山古道をやっていたら、町はわずしかお手伝いをしていない。巨木、巨木については町はやる考えはない。民間でやって欲しい。

## ミネラルウォーター税の導入は

問	ミネラルウォーター税の導入・採取量の問題について
答	地下水利用 検討会で検討中

**質問**

県、国と協議して貴重な財産を有効に生かすため、ウォーター税導入に動く必要と、年間採取量を明確にするのぞむものである。考えを伺う。

**町長答弁**

ミネラルウォーター税については山梨県も断念をした。導入は難しいと考える。採取量の限度については、毎年サントリーから報告を受けている。今後県と市町村において地下水利用検討会で検討し、23年度中に全県域を対象に条例化が予定されている。





平成23年9月6日、  
長岡邦一議員が西部  
町村議会議長会にお  
いて自治功労者表彰  
を受賞されました。  
なお一層のご活躍を  
願います。



長岡 邦一議員

西部町村議会議長会  
自治功労者表彰  
(在職18年以上)



田中 幹啓議員



川端 雄勇議員



森田 智議員

江府町議会議員表彰  
(在職22年以上)

### 陳情の審査結果

みなさんから提出のあった陳情を審査した結果、次のとおり決定しました。

件名	提出者	審議結果
地方財政の充実・強化を求める陳情	鳥取市南町505番地 自治労鳥取県本部 執行委員長 本川 博孝 江府町大字江尾475番地 江府町職員労働組合 執行委員長 加藤 邦樹	採 択
ポリオ不活化ワクチンの早急な導入について意見書提出を求める陳情	鳥取市田島454-4 新日本婦人の会鳥取県本部 会長 山内 淳子	趣旨採択

### 政治倫理条例関係の報告

受付日付	平成23年10月27日	
企業名	株式会社かわばた	
議員と企業との関係	代表取締役社長	
契約の内容	美用地区農業集落排水(10工区)工事	農道笠良原下蚊屋線舗装修繕工事
請負の方法	指名競争入札	
契約金額	12,936,000円	2,457,000円

**第6回 臨時会**      **第7回 臨時会**

平成23年7月1日      平成23年8月29日

江府町固定資産評価審査委員の任期満了に伴う選任  
江府町御机 岡 壽昭 氏      江府町一般会計補正予算(第3号)

江府町農業委員会委員の議会推薦について  
江府町大河原 長尾 保 氏 選任      再任同意

① 農林施設災害復旧費  
(豪雨災害)  
② 小学校水道施設修繕

## 第二回議会報告会

**開催日時** 平成23年11月29日(火)  
午後7時～8時30分

**場 所** 江府町防災情報センター

議会報告会はみなさんと議会の距離を縮める場です。江府町議会は「開かれた議会」として、元気で明るいまちづくりのため、行政・議会の情報をみなさんと共有し活かしていきます。

みなさんの声をお聞かせ下さい。

**平成22年度決算報告等**

# ひとこと



貝田 谷田 孝之

## 「ふるさとに帰って」

私は小学校の教員となり、十五年ほど、鳥取市などに住んでいました。昨年、米子市に異動となり、妻と四人の子ども（六歳、五歳、二歳の双子）と共に江府町貝田に帰ってきました。

ありがたいことに、家族にも地域の方々にも温かく迎えてもらい、子どもたちが多くの人にやさしく見守られて成長しています。

貝田には子どもが多く、上の二人は同級生の子だけでなく、上級生の子にも遊んでもらいます。中

には、家に来て下の二人の世話をしてくれるお兄さんやお姉さんもいてくれます。休みの日子どもが友達と賑やかに我が家で遊んでいるのも、いつもの風景です。自分の家のように遠慮なしに行き来ができる関係というのはありがたいことです。

思えば自分が子どもの時あらゆる場所が遊び場でした。それをじげの人がちゃんと見守り、悪いことをすればガツンと叱ってくださっていました。地域の中で子どもを育てることができ環境がここにありますが。私も地域の子どもを見守り育てる大人の一人でありたいと思います。

家のすぐそばに畑があり、私の父母がつくった野菜をとりたて新鮮なまま頂きます。きれいな水で育ったおいしい米を頂きます。夏の朝、子どもが玄関先で食べているのは、自分で畑からとってきたトマトです。そんな江府町では珍しい生活が、本当はとても豊かなことなのだと感じる毎日です。



本三 山口 純子

## 「笑顔こぼれる商に支えられて」

「皆様、お早うございます。」

マイクを手に今日も、移動販売車の一日が始まります。

山間地域のお客様へいきような商品をお届けするようになり、お陰様で、早七年が過ぎました。週に一、二回の私共の巡回販売を心待ちに出かけてくださったるお馴染みのお客様の顔に接し、自然と笑顔がこぼれます。誰もが、齢を重ねて参



りますと、生涯現役で、自分の目で見て、耳で聞くなどの五感を大切に、より良く生きていきたいと願います。

ご高齢のお客様が、ご自宅からひまわり号まで足を運んでくださり、一つ一つ商品を手に取り、買い物を楽しんでおられる姿を拝見しますと、私の方が元気を頂きます。

これからも、社長の理念であります「地域の皆様とのふれあいをモットーに、なくてはならないあいきょう」を目指して私もお手伝いさせていただきます。



入道雲からイワシ雲に変わり秋本番です。そんな中総理も変わり、「どじょう」内閣が誕生しました。「泥臭くても着実に仕事をすると話しておられます。頑張ってくださいものです。」

久しぶりに「どじょう」と言う言葉を聞いて、昭和30年代の農村の風景を思い出しました。祖父につれられたんぼの横の井手で「どじょう」を取ったこと。あぜに巣をした八子の子を夜、取ったこと…。

秋はアケビ、山栗、きのこ、山ぶどう、黄金色に輝く稲と…。大人も子供も夢があり、瞳が輝いていたように思います。あの輝く農村の光は日に日に失われていって淋しい事です。いまこそ、町民が心をひとつにして新しい光をつかみたいものです。

田中 幹啓

- 議会広報調査特別委員会
- 委員長 川上 富夫
  - 副委員長 森田 智
  - 委員 川端 雄勇
  - 委員 田中 幹啓
  - 委員 日野尾 優